

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成29年8月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

- 1. 調査概要 I - 1
- 2. 工事の実施状況 I - 3
- 3. 調査結果の概要 I - 4

II 事後調査結果

- 1. 大気質 II - 1
- 2. 水質 II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 29 年 8 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

表－1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	8月1日～31日	通年連続

表－1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	8月1日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質量(SS) クロロフィルa			

【参考】（自主検査）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
ノニルフェノール 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩(LAS) 全亜鉛	5点 【1, 2, 3, 4, 5】 上層のみ調査	8月1日	1回/年

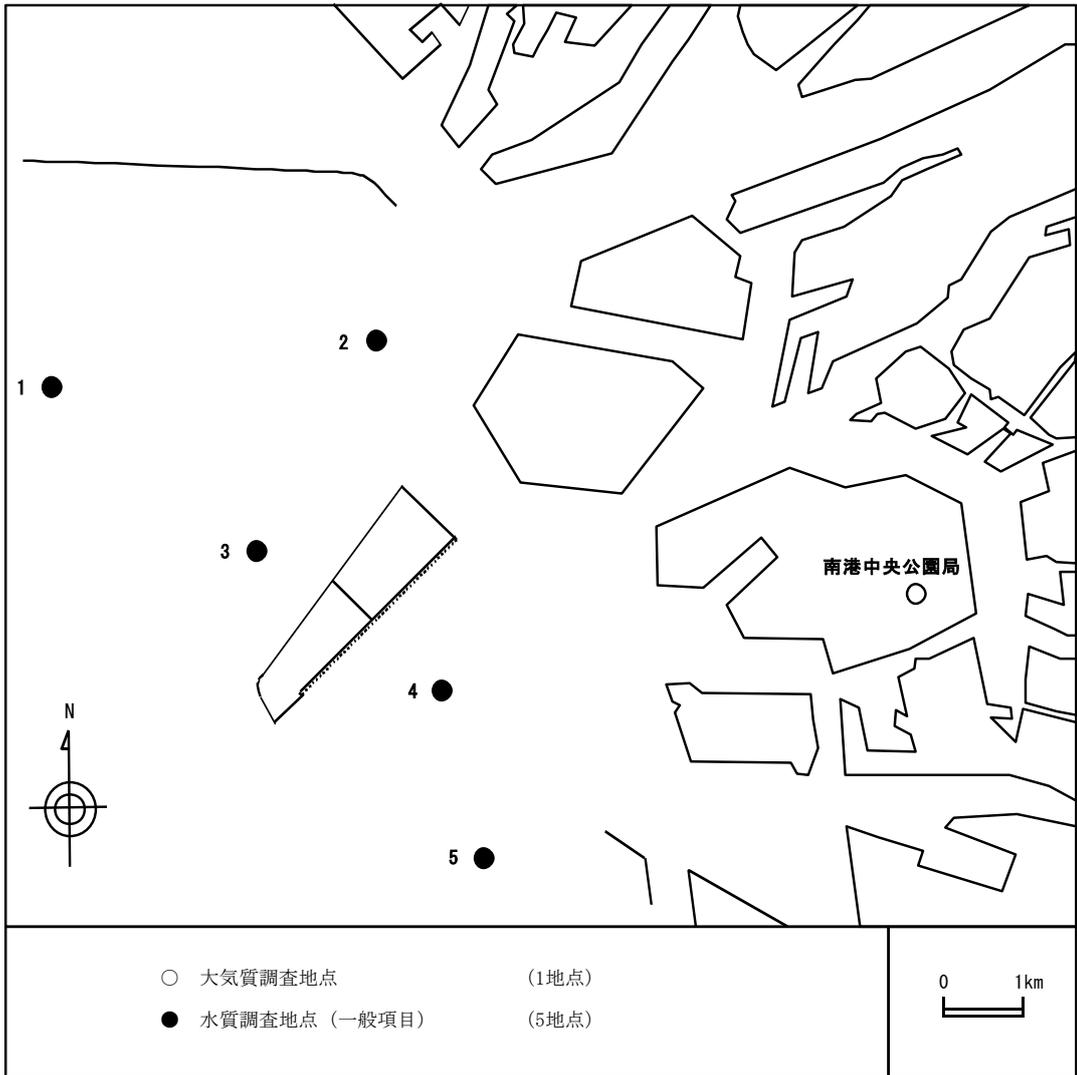
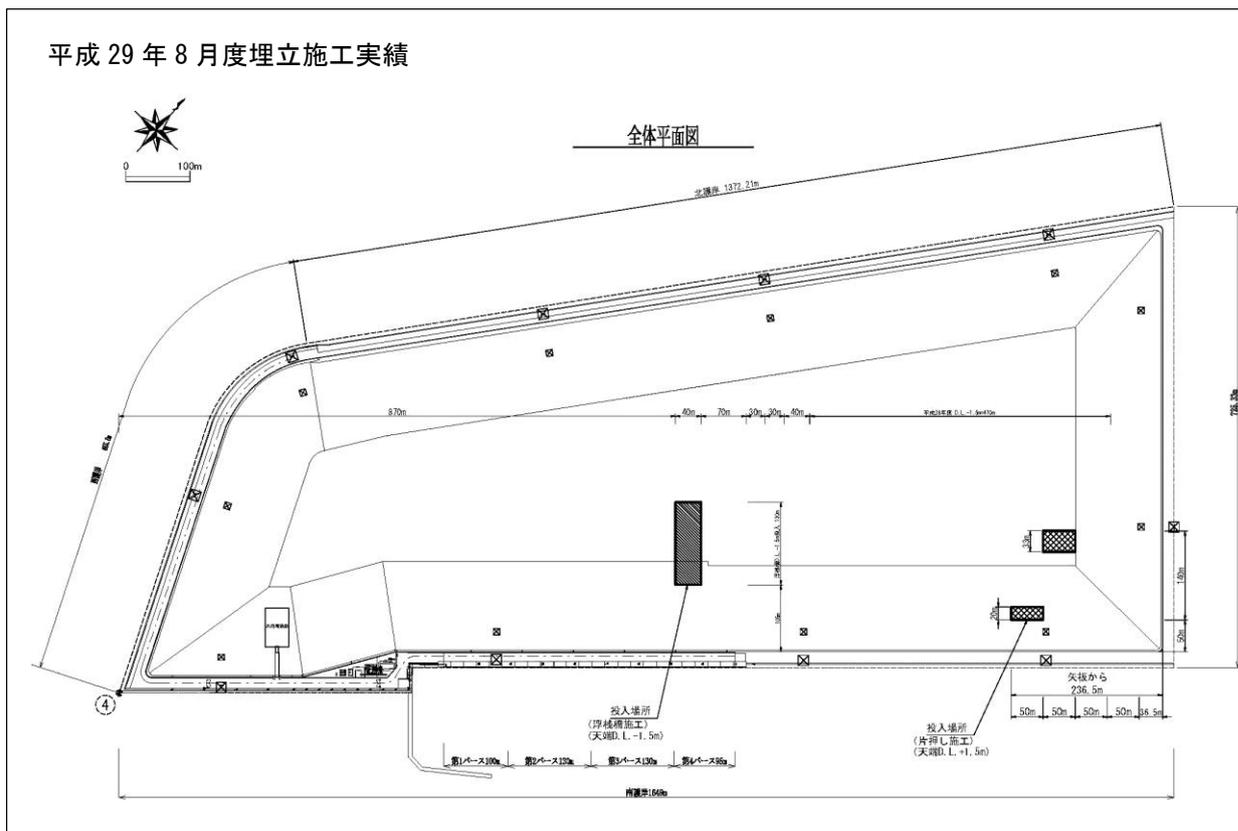


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

平成 29 年 8 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
4,244,690	30.4

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.004ppm であった。また、日平均値の最高値は0.007ppm、1時間値の最高値は0.023ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.016ppm であった。また、日平均値の最高値は0.031ppm であり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.021mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は0.038mg/m³、1時間値の最高値は0.070mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.4～8.6、下層で7.9～8.1 であり、上層では全ての調査地点において環境基準値の範囲外であったが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内にあった。

環境基準値の範囲外であった調査結果は、上層における調査地点1(8.6)、調査地点2(8.6)、調査地点3(8.4)、調査地点4(8.5)、調査地点5(8.5)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で7.7～8.6 であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.8～5.3mg/L、下層で2.0～3.0mg/L であり、上層では調査地点1、2、4、5において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点1(5.0mg/L)、調査地点2(5.3mg/L)、調査地点4(3.8mg/L)、調査地点5(4.2mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で1.6～4.9mg/L であり、調査地点1、2の上層でこの範囲を若干上回っていたが、概ね同程度であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 7.7~10mg/L、下層で 3.2~4.8mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では全ての調査地点で環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回っていた調査結果は、下層における調査地点 1 (3.2mg/L)、調査地点 2 (4.6mg/L)、調査地点 3 (3.7mg/L)、調査地点 4 (4.8mg/L)、調査地点 5 (4.4mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6~11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.43~0.96mg/L、下層で 0.27~0.48mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 1、2、5 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.64mg/L)、調査地点 2 (0.96mg/L)、調査地点 5 (0.87mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.031~0.092mg/L、下層で 0.035~0.069mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 1、2、4 において環境基準値を上回っており、下層では調査地点 1、2、3 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.061mg/L)、調査地点 2 (0.092mg/L)、調査地点 4 (0.052mg/L)、下層における調査地点 1 (0.058mg/L)、調査地点 2 (0.069mg/L)、調査地点 3 (0.065mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1~3 度(カリン)、下層で報告下限値未満 (<1 度(カリン)) ~12 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 1~5mg/L、下層で 1~8mg/L の範囲であった。

8) コロフィル a

コロフィル a は上層で 0.8~19 μg/L、下層で 0.9~3.3 μg/L の範囲であった。

【参考】ノニフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS）、全亜鉛

ノニフェノールは報告下限値未満（<0.00006 mg/L）、LAS は報告下限値未満（<0.0006mg/L）、全亜鉛は 0.001～0.003 mg/L の範囲にあり、全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

《 参考 》

■環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。

なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成 12 年度・水質（一般項目））

項 目	区 分	事業実施前調査 (平成 12 年度・調査地点 1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点 1～5 における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における 75% 値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質様式第1号（埋立地関連）

大気質測定結果総括表 [平成29年8月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	737
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成29年8月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (火)	0.003	0.008
	2 (水)	0.001	0.006
	3 (木)	0.002	0.007
	4 (金)	0.002	0.005
	5 (土)	0.004	0.009
別	6 (日)	0.005	0.010
	7 (月)	0.000	0.001
	8 (火)	0.005	0.011
	9 (水)	0.007	0.017
	10 (木)	0.005	0.023
	11 (金)	0.003	0.007
	12 (土)	0.002	0.010
	13 (日)	0.002	0.007
	14 (月)	0.004	0.014
	15 (火)	0.004	0.011
	16 (水)	0.004	0.014
	17 (木)	0.002	0.005
	18 (金)	0.005	0.015
	19 (土)	0.002	0.010
	20 (日)	0.002	0.005
値	21 (月)	0.004	0.009
	22 (火)	0.005	0.018
	23 (水)	0.007	0.014
	24 (木)	0.005	0.009
	25 (金)	0.004	0.008
	26 (土)	0.006	0.016
	27 (日)	0.002	0.006
	28 (月)	0.007	0.015
	29 (火)	0.005	0.012
	30 (水)	0.002	0.005
	31 (木)	0.001	0.002
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		737	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.007	
1時間値の最高値 (ppm)		0.023	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [平成29年8月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (火)	0.003	0.018
	2 (水)	0.001	0.005
	3 (木)	0.002	0.006
	4 (金)	0.004	0.010
	5 (土)	0.006	0.032
	6 (日)	0.005	0.027
	7 (月)	0.002	0.006
	8 (火)	0.004	0.029
	9 (水)	0.006	0.039
	10 (木)	0.001	0.008
別	11 (金)	0.001	0.008
	12 (土)	0.001	0.008
	13 (日)	0.000	0.003
	14 (月)	0.002	0.010
	15 (火)	0.002	0.009
	16 (水)	0.002	0.008
	17 (木)	0.003	0.014
	18 (金)	0.004	0.021
	19 (土)	0.001	0.006
	20 (日)	0.000	0.001
値	21 (月)	0.002	0.006
	22 (火)	0.009	0.055
	23 (水)	0.004	0.016
	24 (木)	0.003	0.007
	25 (金)	0.006	0.013
	26 (土)	0.004	0.009
	27 (日)	0.002	0.004
	28 (月)	0.006	0.016
	29 (火)	0.005	0.015
	30 (水)	0.003	0.007
	31 (木)	0.001	0.003
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.009	
1時間値の最高値 (ppm)		0.055	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [平成29年8月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (火)	0.018	0.032
	2 (水)	0.015	0.024
	3 (木)	0.015	0.024
	4 (金)	0.017	0.038
	5 (土)	0.015	0.020
別	6 (日)	0.012	0.019
	7 (月)	0.010	0.021
	8 (火)	0.022	0.045
	9 (水)	0.027	0.044
	10 (木)	0.017	0.057
	11 (金)	0.016	0.033
	12 (土)	0.010	0.016
	13 (日)	0.007	0.021
	14 (月)	0.015	0.035
	15 (火)	0.016	0.030
値	16 (水)	0.018	0.037
	17 (木)	0.017	0.033
	18 (金)	0.023	0.042
	19 (土)	0.015	0.024
	20 (日)	0.008	0.013
	21 (月)	0.018	0.028
	22 (火)	0.014	0.019
	23 (水)	0.019	0.041
	24 (木)	0.014	0.021
	25 (金)	0.014	0.023
	26 (土)	0.024	0.044
	27 (日)	0.010	0.018
	28 (月)	0.031	0.058
	29 (火)	0.018	0.033
	30 (水)	0.017	0.031
	31 (木)	0.017	0.027
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.016	
日平均値の最高値 (ppm)		0.031	
1時間値の最高値 (ppm)		0.058	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [平成29年8月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (火)	0.021	85.7	0.050
	2 (水)	0.016	92.4	0.028
	3 (木)	0.017	86.1	0.030
	4 (金)	0.021	83.1	0.043
	5 (土)	0.022	71.1	0.050
	6 (日)	0.017	71.5	0.045
	7 (月)	0.012	85.9	0.026
	8 (火)	0.027	83.5	0.074
	9 (水)	0.032	82.0	0.076
	10 (木)	0.018	95.9	0.065
別	11 (金)	0.017	94.3	0.041
	12 (土)	0.011	90.7	0.022
	13 (日)	0.008	94.0	0.024
	14 (月)	0.017	88.7	0.038
	15 (火)	0.019	87.6	0.035
	16 (水)	0.020	88.6	0.039
	17 (木)	0.020	86.8	0.043
	18 (金)	0.027	83.7	0.062
	19 (土)	0.016	91.2	0.029
	20 (日)	0.008	98.4	0.013
値	21 (月)	0.020	90.6	0.032
	22 (火)	0.023	60.5	0.072
	23 (水)	0.023	83.0	0.044
	24 (木)	0.017	85.1	0.027
	25 (金)	0.020	70.8	0.030
	26 (土)	0.028	84.4	0.053
	27 (日)	0.012	84.7	0.021
	28 (月)	0.037	83.9	0.074
	29 (火)	0.023	77.2	0.038
	30 (水)	0.020	86.4	0.038
	31 (木)	0.018	93.5	0.030
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		739		
月平均値 (ppm)		0.019		
日平均値の最高値 (ppm)		0.037		
1時間値の最高値 (ppm)		0.076		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		84.1		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) =$$

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [平成29年8月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)
日	1 (火)	0.026	0.066
	2 (水)	0.014	0.024
	3 (木)	0.008	0.013
	4 (金)	0.011	0.021
	5 (土)	0.022	0.049
別	6 (日)	0.025	0.046
	7 (月)	0.012	0.031
	8 (火)	0.021	0.042
	9 (水)	0.038	0.070
	10 (木)	0.038	0.063
	11 (金)	0.026	0.049
	12 (土)	0.011	0.028
	13 (日)	0.010	0.015
	14 (月)	0.011	0.021
	15 (火)	0.024	0.046
値	16 (水)	0.013	0.035
	17 (木)	0.019	0.032
	18 (金)	0.018	0.049
	19 (土)	0.015	0.031
	20 (日)	0.018	0.046
	21 (月)	0.032	0.057
	22 (火)	0.017	0.028
	23 (水)	0.022	0.066
	24 (木)	0.032	0.053
	25 (金)	0.032	0.058
	26 (土)	0.021	0.038
	27 (日)	0.016	0.022
	28 (月)	0.029	0.051
	29 (火)	0.037	0.065
	30 (水)	0.015	0.053
	31 (木)	0.010	0.013
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		741	
月平均値 (mg/m ³)		0.021	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.038	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.070	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

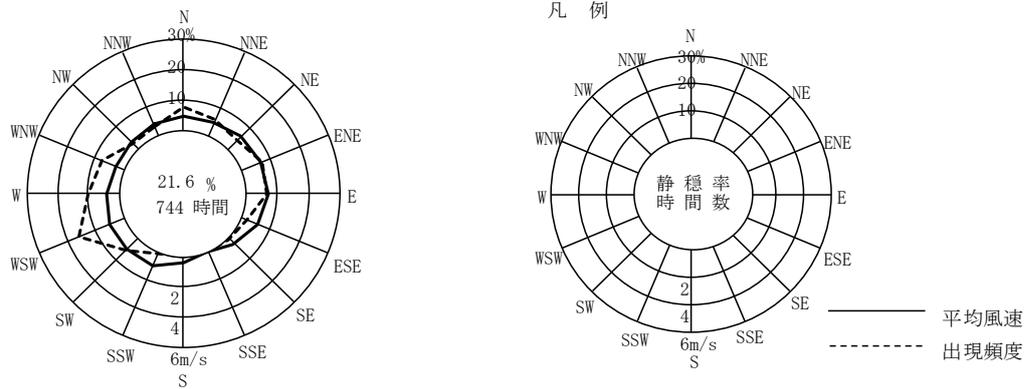
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成29年8月分]

方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度数	44	32	53	46	14	3	0	1	5	39	115	73	59	18	24	57	161	744
頻度 (%)	5.9	4.3	7.1	6.2	1.9	0.4	0.0	0.1	0.7	5.2	15.5	9.8	7.9	2.4	3.2	7.7	21.6	-
平均風速 (m/s)	0.9	1.2	1.3	1.4	1.1	0.5	-	0.4	0.9	1.0	1.0	0.8	0.6	0.7	0.8	1.0	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成29年8月分]

水質調査結果（一般項目）[平成29年8月分]

調査日：平成29年8月1日

項目	調査点					最小値	～	最大値	平均値	
	1	2	3	4	5					
時刻	8:05	8:13	8:40	9:22	9:40	-			-	
透明度 [m]	2.5	1.5	4.0	3.5	3.0	1.5	～	4.0	2.9	
水温 [°C]	28.9	28.3	27.7	28.4	28.4	27.7	～	28.9	28.3	
	23.1	24.7	24.0	24.3	24.2	23.1	～	24.7	24.1	
塩分 [-]	24.5	19.8	27.2	25.7	26.3	19.8	～	27.2	24.7	
	32.5	29.8	31.4	31.6	31.6	29.8	～	32.5	31.4	
濁度 [度(カリン)]	2	3	1	2	1	1	～	3	2	
	<1	12	1	2	3	<1	～	12	4	
浮遊物質量 (SS) [mg/L]	2	5	4	5	1	1	～	5	3	
	2	6	1	8	3	1	～	8	4	
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.6	8.6	8.4	8.5	8.5	8.4	～	8.6	-	
	7.9	8.1	8.0	8.0	8.1	7.9	～	8.1	-	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	5.0	5.3	2.8	3.8	4.2	2.8	～	5.3	4.2	
	2.2	3.0	2.0	2.2	3.0	2.0	～	3.0	2.5	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	9.1	10	7.7	8.7	8.1	7.7	～	10	8.7
	飽和度 [%]	3.2	4.6	3.7	4.8	4.4	3.2	～	4.8	4.1
全窒素 (T-N) [mg/L]	136	144	114	130	121	114	～	144	129	
	45	66	53	69	63	45	～	69	59	
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.64	0.96	0.43	0.54	0.87	0.43	～	0.96	0.69	
	0.37	0.48	0.39	0.38	0.27	0.27	～	0.48	0.38	
全燐 (T-P) [mg/L]	0.061	0.092	0.031	0.052	0.040	0.031	～	0.092	0.055	
	0.058	0.069	0.065	0.041	0.035	0.035	～	0.069	0.054	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	6.7	19	0.8	2.7	2.4	0.8	～	19	6.3	
	0.9	3.3	1.0	1.2	1.1	0.9	～	3.3	1.5	

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

【参考】（自主検査）

水質調査結果

調査日：平成29年8月1日

項目	調査点	1	2	3	4	5	項目	環境基準値
ノニルフェノール	[mg/L]	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	ノニルフェノール	[mg/L] 0.001
報告下限値 0.00006								
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩 (LAS)	[mg/L]	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩 (LAS)	[mg/L] 0.01
報告下限値 0.0006								
亜鉛	[mg/L]	0.002	0.003	0.002	0.002	0.001	亜鉛	[mg/L] 0.02
報告下限値 0.001								